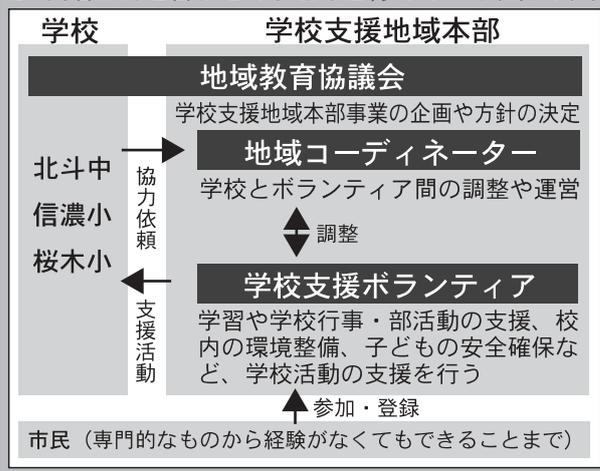


学校支援地域本部事業のしくみ

学校支援地域本部事業は学校の教育活動に市民が参加し、両者が力を合わせて子どもを育てていく取組です。



地域は学校の応援団

社会が複雑化し、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。学校は今、さまざまな課題を抱えています。過剰に役割を求められるようになっています。学校支援地域本部事業は、教育の役割と責任を学校だけが負うのではなく、学校と家庭、地域がこれまで以上に連携協力して教育活動を進めていくものです。みんなの力で行うことで、教員や地域の大人は子どもと向き合う時間が増えます。市民が自らの学習成果を生かす場が広がります。学校や地域の教育力の向上が期待できる取組です。

放課後子ども教室と学校支援地域本部事業が始まります。この事業は、地域の大人がこれまで培ってきた知識や経験を生かしながら、子どもや学校の活動を支えていく取組です。地域に住む多くの方が関わることで、地域と子ども、地域と学校とのつながりが生まれ、地域のきずなが強くなります。ボランティアなどとしてこの取組の運営に参加してみませんか。



市民が講師となり生徒と地域の大人がともに学んでいる北斗中の北斗ふれあいサークル。市民は学校支援地域本部事業の取組で学校のこうした活動に関わる機会が多くなります

市民が学校の教育活動を支援し、地域ぐるみで子どもを育てていく**学校支援地域本部事業**。市はこのたび北斗中、信濃小、桜木小をひとつの校区にした**北斗中学校区学校支援地域本部**を設置しました。

学校を支え、子どもをみんなで育てる 北斗中学校区 学校支援地域本部事業

この事業では、市民がこれまで個々に行ってきた学校支援の取組を発展させ、これを組織的に進めていきます。学校と市民との協働により、学校を核に地域の力が高まっていくことが期待されます。

放課後子ども教室と学校支援地域本部事業は、ともに市民が**子どもの教育**を支えていく取組です。両事業とも平成21年度はモデル事業として実施し、その成果を検証しながら、今後の方向性を検討していきます。市民の皆さんのご協力をお願いします。



「子育て」の記事についてのお問い合わせは

●放課後子ども教室・学校支援地域本部事業について
 教育部生涯学習課主査（放課後子どもプラン担当）
 ☎(24) 3 1 3 1 内線 5 6 8